

令和2年度 第1回米原市介護保険運営協議会 議事録

日時：令和2年6月30日（火）
午後1時29分～午後3時14分
場所：米原市役所 米原庁舎 会議室2A

1. 開会

2. あいさつ

健康福祉部長：令和2年度第1回米原市介護保険運営協議会の開催にあたりまして、ご挨拶をさせていただきますと思います。本日は、皆さま公私ともにご多用の中、足下の悪い中、本運営協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。委員の皆さまには平素より本市の高齢者福祉行政ならびに介護保険事業に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、前期に引き続き委員にご就任いただきました皆さまにおかれまして、再度お世話になることを厚く御礼申し上げます。さて、介護保険事業・介護制度ですが、平成12年4月にスタートし、20年となります。広く国民の間に定着して参りましたが、その一方で人口構造の変化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化、昨年度の7月に発生しました高齢者夫婦の事件など、決して忘れてはならない出来事がありました。その中でしっかりとニーズの多様化、あるいは複雑化に対応していかなければなりません。本当に大きな米原市の課題であると感じています。また、現在介護の担い手である介護職は深刻な人材不足に陥っており、介護サービスの需要増が見込まれる中、安定的な介護サービスの提供に重要な疑念が生じています。本市におきましても、令和2年度6月1日現在の高齢化率が29.2%であり、認定者数については、2,252人と、平成12年度と比較しますと、約2.8倍となり、介護給付費の増加と財政的にも大きな課題を抱えています。今年度は介護保険法第117条の規定に基づきまして、介護保険事業計画の見直しを行います。多くの課題に対して、切れ目なく一体化して、サービスを提供する地域包括ケアシステムの構築の深化に向けて、医療、介護、生活支援の連携、認知症施策や介護予防事業のさらなる充実と、健康の保持増進、高齢者が生きがいを持って社会の担い手として活躍できる仕組みづくりなど、住み慣れた地域で皆がつながり、支え合い、その人らしくいきいきと安心して暮らし続けられる介護サービスと地域の支え合いを組み合わせた米原らしい地域包括ケアシステムの充実と施策展開を考えています。委員の皆さまには複数回にわたり貴重なご意見を頂戴したいと存じますのでどうかよろしく申し上げます。最後になりますが、今後とも本市の高齢者福祉行政ならびに介護保険事業を推進するため、格別なご指導とご協力を賜りま

すことをお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

3. 自己紹介（委員・事務局）

- ・資料 米原市介護保険運営協議会委員名簿

4. 会長、職務代理者選出

- ・資料1 米原市介護保険条例（抜粋） 米原市介護保険条例施行規則（抜粋）

事務局：第29条に「協議会に会長を置き、委員の互選により定める」とあります。選出について、皆さまのご意見をお願いしたいと思います。

委員：事務局から選任できませんか。

事務局：「事務局」というご意見をいただきました。それでは事務局より提案させていただいてよろしいでしょうか。

事務局：里村委員にお願いしたいと思います。ご就任を提案させていただきます。賛同いただけますでしょうか。

【異議なし】

事務局：ご賛同いただけましたようですので、よろしいでしょうか。それでは、里村会長からご挨拶いただきたいと思います。

会長：ただいまご指名をいただきました里村でございます。今回は介護保険計画等の策定もございまして、皆さまのご協力なしでは成り立ちませんので、どうぞご協力をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

事務局：次に、職務代理者の選出ですが、規則29条第3項に「会長に事故があるとき、または会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名した委員が職務を代理する」とありますので、里村会長よりご指名いただきたいと思います。

会長：それでは、第6期事業計画策定から当運営委員会委員を務められ、本市の高齢者福祉行政の推進にご尽力いただいた吉田正子委員にお願いしたいと思います。ご異論ございませんでしょうか。

【異議なし】

吉田委員：里村会長のもと、皆さまの意に沿った計画ができますように一生懸命努めて参りました。

いと思います。どうぞよろしく申し上げます。

5. 諮問

事務局：健康福祉部部長から会長に諮問文をお渡しいただきます。

資料 米原市介護保険事業計画および米原市高齢者福祉計画の見直しについて（諮問）

里村会長が健康福祉部部長から諮問を受け取る。

6. 協議・報告事項

（1） 介護保険の運営状況について

<事務局より資料説明>

- ・資料2-1 介護保険の状況について
- ・資料2-2 介護保険の運営状況について
- ・資料2-3 令和元年度地域支援事業費執行状況内訳

会長：ありがとうございました。沢山の数字が出てきて、頭の中が混乱している状態かと思いますが、ご意見、ご質問がございましたらご発言お願いします。どうも聞いてみますと、80歳以上が多いので米原は介護給付費が高くなっている。それを補正すると、高い項目は少ないですよ、というところだと思いますが、補正するというのは数字上の遊びでしかないと言いますか、実際問題、人間としてはいらっしゃいますので、高いものをどうするのか、という話しにはなるかと思えます。何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。多分、頭の中で数字が飛び交うと訳が分からなくなると思いますが。

委員：「調整後」というのはどのように行っているのでしょうか。何が調整されて給付金額が変わっているのでしょうか。調整内容を教えてください。

事務局：簡単に申し上げますと、人口バランスの調整です。どうしても市内に高齢者ばかりいると、全国と比べたときに高齢化率が高くなり、不利になってまいります。これを、バランス良く見たときに、全国と比べたらこの数字になりますよ、というのが年齢調整になります。

会長：平たく言うと、第1号被保険者の全国で〇歳～△歳までが全体の何割というので、米原市の人口がこの比率だとこの額になるという計算です。米原は80歳以上が多い、高齢者が多いのでどうしても高くなってしまふ。でも、全国のように若い人が多ければもっと

下がりますという話しです。でも、だからと言って今の米原を若い人にするのは無理な話しです。現実問題、高くなっていますが、補正することで何が見えるかと言うと、米原市が無理矢理、介護保険の認定を甘くしているわけではないですよということを言いたいのだろうと思います。

委員：なぜ調整が必要なのかを確認するため、お尋ねしました。

会長：それを出すことによって、米原市の認定が甘いからこのようになっているわけではない、大体ほぼ一緒だということが言いたいのだとは思いますが。他にご質問、ご意見はございますでしょうか。数字が沢山出て混乱されていると思うので、何か後でもお気づきになればご質問いただければと思います。

(2) 第8期介護保険事業計画／高齢者福祉計画の策定に向けたスケジュールおよびアンケート調査結果について

<事務局より資料説明>

- ・資料3-1 第8期介護保険事業計画／高齢者福祉計画の策定に向けたスケジュール
- ・別冊 高齢者等実態調査結果報告
- ・資料3-2 米原市高齢者等実態調査結果報告書の注目点

会長：何か質問等はございますでしょうか。2頁「2 調査の種類・調査方法」の中の「①在宅介護実態調査」の抽出方法が空欄になっていますが。

事務局：要支援・要介護に認定を受けて居宅で暮らしている方の抽出方法は「全数」になりますので、全ての方に調査をさせていただいております。

会長：先ほどは補正が出てきたのですが、今回は全く補正が出てきていません。4町の人口比を見ないことには、どこかの意見が偏っていないかという突っ込みを入れたくなるので、そこで補正する必要があるのか、ないのかというところがあると思います。4町のデータを出されたところは4町の人口比になっているというのであればすごく分かりやすいのですが、そうではなく、どこかがすごく多ければ、その意見がメインに出してしまうので、4町を出されるときはその辺を出された方がいいのではないかと思います。

事務局：今、会長から意見がありましたように、事務局でもやはりこの辺りは確認、検討させていただいて、反映させるべきところは反映させていきたいと思いますので、まずは検討からさせていただきたいと思います。

会長：調査をやった後、何をクロスするか、いろいろな話しがあると思います。なかなかその辺が難しいです。尚且つ、今回は有効回答率が半分以上で、足し算をしたら合わない部分があるので、そのへんもどう考えるのかも踏まえて、揃えなければいけないと思います。その他、ご意見ありますでしょうか。

委員：意見というか、気持ちなのですが、こういった介護の問題は、介護対象者と介護者が親子関係であったり、それが老々介護であったり、現役の人であればいいのですが、子どももリタイアしていたり、独身のために一人で二人の親の面倒をみることもあります。アンケートでもそうですし、医療関係者や福祉関係者とお話すると、皆さん、在宅介護で最後まで看取ってあげた方がいいですよ、とおっしゃいます。でも、介護するパターンがあって、大変だという思いも十分受けています。私達は見守る立場なのですが、家に帰ってきて在宅介護をする負担の軽減も見てあげなければいけないし、介護の面で、先ほど言った高齢者同士で、子どもも高齢者になったときに、こういったパターンをどのように見守っていくのか。ともすれば、親子とも介護が必要になってくるパターンが段々増えて行く。2025年問題もあり、こういう方も増えてきます。それに向かって、私たちの見守りも含めてどういった形が望むべき形なのか。市も一生懸命事業をやっていると思いますが、ジェネレーションギャップもあって、高齢者や家族に対する思いも変わってきています。もっともっと思いやりがあってもいいと思うのですが、なかなかそうはいかない。皆離れていってしまう。だから、家族ではなく、地域の者が見守らなければいけないなど、いろいろなパターンがあります。このアンケートの中では、運動する機会があれば「行くぞ」と言っているけど、実際にデイサービスに行くとなったら、「今日は行かない」「今日は行きたくない」ということになってしまいます。パターンがありすぎて悩んでいます。確かにデイサービスに行って、帰ってきたら喜んでいる人は沢山いるのですが。介護って難しい。それをやっておられる皆さんは大変だろうと思います。医療関係者の方も施設職員の方も大変だと思います。こういった場でお話を聞けたらと思っています。現場で一生懸命やっておられる方が介護のあり方等、アドバイスしていただけたらと思います。出来るだけ在宅で看取る形が最近の流れとしてありますが、その流れに乗っていくにはどうしたらいいか、また皆さまからお話を聞かせていただきたいです。

会長：今おっしゃられたように、バリエーションがありすぎて、言うてはいけないのですが、このアンケートで全てが出ているかという、出ていないと思います。身も蓋もない話

しですが、外面は良くて、行ったときはいい顔をしていても家に帰ったら怒っていたりと、いろいろなパターンがあり、なかなか大変だと思いますので、何がベストかという
と難しいです。介護保険は元々家族だけで見るのは大変だということのできたのですが、
今になったら介護保険だけでは無理になり、また家族でということになってきており、
その辺が非常に難しいと思います。今も、いろいろなパターンがあるので、介護をして
いる人の職がないという話がありましたが、介護離職と言われるように、介護のために
辞めて職がないのか、それとも、老々介護で職がないのかを分けないと、「職がない人」
と言われても、それが何を指しているのかという話しになってしまいます。データとし
ては間違っていないのですが、その辺の解釈を含めてもう少し詰めて行かないとい
けないかと思います。

委員：全体のサービスの受給状況、実施状況、アンケートもそうなのですが、実数をそのま
ま分析をしていただいているのですが、その背景が少し分かりにくい。それと、米原市
としてどうなのか。高齢化が他と比べて進んでいるし、出来るだけ家にいたい、あるい
は3世代同居の率も高いので結果として通所介護が多いということなのか、あるいはた
またま事業所が多いからなのか。もし、通所がなければ、入所施設がないことには、地
域で暮らし続けられないのか。その辺りのことが、米原の現状として、データをそれぞ
れお聞きするだけでは掴みきれないです。今後、第8期の計画をつくりにあたり、米原
の皆さんの自宅での看取りも含めた希望と、実際受けられるサービスの利用の状況と、
米原にある地域の介護保険のサービスと地元にある見守りや付き合いといったインフォ
ーマルなサービスがどれだけあったというのがないと、データの一つひとつは分かるの
ですが、全体を掴みづらい。先ほど会長がおっしゃいますように、「働いていない」とい
っても、70歳を超えて働いている人はいないということにもなるので、日常生活で感じ
ることを、米原の介護、あるいは高齢者の生き様のようなこととクロスして示してい
ただけると、次回以降、議論するときに非常に分かりやすいと思いました。一つひとつは
分かるけれど、バックが分からない。本当にひとり暮らしの人が最後まで自宅で暮らし
たいという回答だったのか、あるいは3世帯や同居の人が自宅で最後まで暮らしたいと
回答されたのかということも含め、全体を掴むのには分かりづらいと思いました。その
辺りを噛み砕いて示していただけるとありがたいと思いました。

委員：例えば訪問看護等の訪問系サービスが全国、滋賀県に比べて高くなっている。また、
通所介護も高くなっているというデータをいただいたのですが、今おっしゃられたよう

に背景が見えてこないです。米原市は何が違うのか、特徴があるのか、どうしてそのような状況になっているのかのご説明をいただけないとわかりません。できれば介護保険を考えて行くにも背景を知っておかなければいけないと思いますので、その辺りを次回、お願いしたいです。

会 長：これだけのアンケートの裏まで見ようと思うと、それだけで1年かかってしまい大変なところですので、メインのところだけでも、最初の方に介護費用との関係がありましたので、それで問題があるようなところだけでも見ると、もう少し議論はしやすいかと思います。このアンケートを全部背後まで見ようとする、それだけで1、2年かかってしまいますので。その辺りだけでもしてもらえると、もう少し話しはしやすいのかと思います。

事 務 局：介護保険制度では日常生活圏域という設定がされています。米原市では4地域という設定がされていますが、この資料で言いますと、「資料2-1 介護保険の状況」の13頁を見ていただきますと、それぞれ各地域、学区ごとの傾向は出てきます。この中でも増加している学区というのが出てきている部分があります。当然、伊吹地域は人口が減っているので、そういう部分で利用者が伸びていないところがございますが、その地域にあるサービスの状況というのは非常に伝わってくるのかと思います。サービスの状況と地域の特性というのもしっかりと見ていながら、今後のサービスの充足等をどう考えて行くかということで、保険料に反映していく必要があると考えています。

会 長：一番大変なところだと思いますが、4町でかなり違いますので、それをある程度示していただくと、話しとしてはしやすいのかと思います。他にご意見はございますでしょうか。また思いつかれたことがあれば事務局に言っていただければと思います。本日の議事は全て終わりました。どうもありがとうございました。

(3) その他

<事務局より資料説明>

- ・追加資料 地域密着型サービスの整備について

事 務 局：整備の内容に関しましてご承認いただけますでしょうか。

会 長：なかなかこういった施設はつくってくれと言ってすぐには出来るものではないですね。

【異議なし】

会 長：承認とさせていただきます。

7. 閉会

事 務 局：各委員の皆さん、事務局の一方向的な話しとなり大変お疲れかと思えます。長時間に
わたりご審議いただきありがとうございます。御礼申し上げます。なお、次回は8月
下旬に開催する予定でございます。またご案内はそれぞれに申し上げますので、ご出
席よろしくお願ひ申し上げます。では、以上で本日の会議は終了となります。それで
は、これで閉会とさせていただきます。

以 上